

A 票

受付年月日	受付番号
	番

随 時

1 /	2 /	3 /	4 /	5 /
低	有・無	市住 (- -)		
手・診	公 改	P 有・無	通知	
外・未・単・二・住・不・申・同・収・算・超・婚・売・市・自・他				

京都市市営住宅入居申込書

(あて先) 京都市住宅供給公社 理事長 令和 年 月 日

私は、京都市市営住宅条例に基づき市営住宅に入居したく申し込みます。私及び同居しようとする親族は暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に定める暴力団員ではなく、また、申込書の記載内容が事実と相違したとき又は入居資格があることが証明できないときは、京都市市営住宅条例の定めるところにより、市営住宅の入居を断られても異議なく従います。

申込区分

どちらかに○印をしてください。
裁量階層世帯に該当する・しない

★B票参照

◎太線枠内のみ記入してください。 ◎申込受付後の変更はできません。

入居申込者	フリガナ	生年月日	年齢	性別	職 業 (アルバイト等含む)	控除区分	備 考
	01	大・昭・平・令 年 月 日	歳	男・女	有・無	老人・特扶 障害・特障 ひとり親 寡婦	
	現 住 所 (郵便番号 -)						
	マンション・アパート名等 棟 号 電話 - - 勤務先名称 所在地 採用 (事業開始) 年月日 (年 月 日) 電話 - -						
同居しようとする親族 (婚約者を含む)	フリガナ	生年月日	年齢	性別	職 業 (アルバイト等含む)	控除区分	備 考
	() 申込者との続柄	大・昭・平・令 年 月 日	歳	男・女	同居・別居	有・無	老人・特扶 障害・特障 ひとり親 寡婦
	() 申込者との続柄	大・昭・平・令 年 月 日	歳	男・女	同居・別居	有・無	老人・特扶 障害・特障 ひとり親 寡婦
	() 申込者との続柄	大・昭・平・令 年 月 日	歳	男・女	同居・別居	有・無	老人・特扶 障害・特障 ひとり親 寡婦
	() 申込者との続柄	大・昭・平・令 年 月 日	歳	男・女	同居・別居	有・無	老人・特扶 障害・特障 ひとり親 寡婦
	() 申込者との続柄	大・昭・平・令 年 月 日	歳	男・女	同居・別居	有・無	老人・特扶 障害・特障 ひとり親 寡婦
入居はしないが、所得税法上、現在扶養している親族 (控除対象者の控除区分を () 内に記入して下さい。)							
氏 名 (控 除 区 分)		続柄	生年月日	現 住 所			
()							
()							

45 歳以下新婚 裁量階層世帯 に該当する方	該当する口内に✓印をつけ、婚姻日等記入してください。			
	☐ ①	婚姻した日から起算して1年を経過する日までに入居の申込みをされた方	婚 姻 日	年 月 日
	☐ ②	内縁の申出を受理された日から起算して1年を経過する日までに入居の申込みをされた方	内縁申出日	年 月 日
	☐ ③	婚約者と、入居日までに婚姻される方	婚姻予定日	年 月 日

整理番号	分 位	1・2・3・4 裁量1・裁量2	市営住宅	棟	号	指 定 日	年 月 日
------	-----	--------------------	------	---	---	-------	-------

■世帯の収入額の計算方法

年間支給金額から年間所得金額を計算します。

表1 給与の方

年間給与支給金額	年間所得金額の計算式
0 円 ～ 750,000 円	所得金額は 0 円
750,001 円 ～1,899,999 円	年間給与支給金額 - 750,000 円
1,900,000 円 ～3,599,999 円	端数整理後の年間給与支給金額 ※1 × 0.7 - 180,000 円
3,600,000 円 ～6,599,999 円	端数整理後の年間給与支給金額 ※1 × 0.8 - 540,000 円
6,600,000 円 ※2 ～9,999,999 円	年間給与支給金額 × 0.9 - 1,200,000 円

- ※1 端数整理の方法
年間給与支給金額が 1,900,000 円以上 6,599,999 円以下のときは、これを 4,000 で割り、得た数の小数点以下を切り捨て、再度 4,000 を掛ける。
- ※2 年間給与支給金額が 8,500,000 円以上の方は、別途お問い合わせください。

表3 事業の方

(事業所得の収支明細書の所得額の合計金額が年間所得金額となります。)

年間給与支給金額	年間所得金額の計算式
	総収入金額 - 必要経費

表4 控除金額

世帯の状態に合わせて、得金額から差引くための控除金額を計算してください。

1	同居親族控除 扶養親族控除 38 万円 × 人 = 円
2	老人同一生計配偶者控除 老人扶養親族控除 10 万円 × 人 = 円
3	特定扶養親族控除 25 万円 × 人 = 円
4	障害者控除 27 万円 × 人 = 円
5	特別障害者控除 40 万円 × 人 = 円
6	ひとり親控除 35 万円 × 人 = 円 ただし、該当する人の所得が 35 万円未満のときはその所得金額
7	寡婦控除 27 万円 × 人 = 円 ただし、該当する人の所得が 27 万円未満のときはその所得金額
控除額合計 円	

(注) 市営住宅に入居はしないが、所得税法上、現在扶養している親族がおられる方は、人数分を含んで計算してください。

表2 年金の方

年 齢	年間年金支給金額(A)	年間所得金額の計算式
65 歳以上の方	0 円 ～ 1,200,000 円	所得金額は 0 円
	1,200,001 円 ～ 3,299,999 円	(A) - 120 万円
	3,300,000 円 ～ 4,099,999 円	(A) × 0.75 - 37 万 5 千円
	4,100,000 円 ～ 7,699,999 円	(A) × 0.85 - 78 万 5 千円
	7,700,000 円以上	(A) × 0.95 - 155 万 5 千円
65 歳未満の方	0 円 ～ 700,000 円	所得金額は 0 円
	700,001 円 ～ 1,299,999 円	(A) - 70 万円
	1,300,000 円 ～ 4,099,999 円	(A) × 0.75 - 37 万 5 千円
	4,100,000 円 ～ 7,699,999 円	(A) × 0.85 - 78 万 5 千円
	7,700,000 円以上	(A) × 0.95 - 155 万 5 千円

* 申込月の年齢で計算してください。

B 票 ◎太線枠内を必ず記入してください。

住宅の種類について、該当する項目に、○印をつけてください。			
申 込 者 の 住 宅	1. 賃貸マンション・アパート 2. 借家 3. 寮・社宅 4. 申込世帯以外の賃貸住宅に同居 5. 申込世帯以外の持家に同居 6. 市営住宅 7. 府営住宅 8. UR 賃貸住宅 (旧公団) 9. その他 [具体的に: _____]	月額家賃 (共益費等を除く。)	円
		間取り (ワンルーム、1LDK 等)	
		住 宅 内 の 設 備	風 呂 □あり □なし トイレ □あり □なし
現在別居中である が市営住宅に同居 しようとしている 親族の住宅	1. 賃貸マンション・アパート 2. 借家 3. 寮・社宅 4. 申込世帯以外の賃貸住宅に同居 5. 申込世帯以外の持家に同居 6. 市営住宅 7. 府営住宅 8. UR 賃貸住宅 (旧公団) 9. その他 [具体的に: _____]	(現在別居中の方の住所) 郵便番号 _____	

住宅困窮理由 該当する項目に ○印をつけてく ださい。	1. 保安上危険な状態にある建物に居住している。 2. 住宅が狭い。(一人当たりの居住面積が 4.5 畳以下) 3. 住宅が狭い。(同居を必然とする親族と別居中) 4. 月収の 25%以上が家賃 5. 婚約中であるが、住宅が無い 6. 他の世帯との同居により、生活上苦痛である。 7. 家主等から、明渡しを求められている。 8. 2 時間以上の遠距離通勤をしている。	9. その他 (具体的に書いてください。)

過去、本市の市営住宅に居住したことがある方のみ記入してください。(申込者、同居しようとする親族含む)			
市営住宅名称	団地	棟	号

裁量階層世帯とは

裁量階層世帯に該当する方については、入居できる収入の上限が引き上げられます。
裁量階層世帯とは、次の (ア)、(イ)、(ウ) のいずれかに該当する世帯です。
なお、(ア)、(ウ) の各号に該当する場合は、申込書に記入された該当者の備考欄に該当する内容を記入してください。

(ア) 申込者又は同居者が次のいずれかに該当する世帯

- ① 身体障害者手帳の交付を受けている方 (障害の程度が 1 級から 4 級までであること。)
- ② 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方 (障害の程度が 1 級又は 2 級であること。)
- ③ 療育手帳の交付を受けている方 (障害の程度が A 判定であること。)
- ④ 戦傷病者手帳の交付を受けている方 (障害の程度が特別項症から第 6 項症まで又は第 1 款症であること。)
- ⑤ 厚生労働大臣の認定を受けている原子爆弾被爆者
- ⑥ 海外からの引揚者 (引き揚げた日から 5 年を経過してないこと。)
- ⑦ 平成 8 年 3 月 31 日までに国立ハンセン病療養所その他の厚生労働大臣が定めるハンセン病療養所に入所していた方
- ⑧ 中学校修了前の方
- ⑨ 同居者に 20 歳未満の方が 3 人以上

(イ) 申込者が 60 歳以上の方で、かつ、同居者のいずれもが 60 歳以上又は 20 歳未満の方である世帯

(ウ) 申込者及び配偶者 (内縁の配偶者及び婚約者を含む。) のいずれもが申込日現在 45 歳以下で、かつ、次のいずれかに該当する世帯 (以下、「45 歳以下新婚裁量階層世帯」という。)

- ① 婚姻した日から起算して 1 年を経過する日までに入居の申込みをされた方
- ② 内縁の申出を受理された日から起算して 1 年を経過する日までに入居の申込みをされた方
- ③ 婚約者と、入居日までに婚姻される方

C 票

郵便番号	□□□□-□□□□
市 _____ 区 _____	
町 _____ 番地 _____	
マンション・ アパート名等	号 _____
様方 _____	
様 _____	

婚姻・離婚・退院・退所・持家売却等、申込時に誓約が必要な方はこちらに記入ください。

誓 約 欄

【世帯員の収入を記入してください。（変動がある場合は、平均収入を記入してください。）】

氏 名	給 料	事 業	年 金
01 申 込 者 本 人	年収 月収 円	年額 月額 円	年収 2 か月 円
02	(年 月採用) 年収 月収 円	(年 月開始) 年額 月額 円	年収 2 か月 円
03	(年 月採用) 年収 月収 円	(年 月開始) 年額 月額 円	年収 2 か月 円
04	(年 月採用) 年収 月収 円	(年 月開始) 年額 月額 円	年収 2 か月 円
05	(年 月採用) 年収 月収 円	(年 月開始) 年額 月額 円	年収 2 か月 円

※生活保護受給中の方は、備考欄にその旨記入してください。その場合も、職業の有無、収入の種類欄は必ず記入してください。
※同居者の場合は必ず採用月を記入してください。

* * * * * 公 社 記 入 欄 【これより下、記入しないでください】 * * * * *

< 1次審査用 >

世帯の年間所得金額
円

—

控除額合計金額
円

÷ 12 =

世帯の収入額
円

< 2次審査用 >

世帯の年間所得金額
円

—

控除額合計金額
円

÷ 12 =

世帯の収入額
円

2 次 審 査					収 入 算 定 (記入しないでください。)					裁 量 該 当 区 分	1. 身障 2. 精障 3. 療育 4. 戦傷 5. 原爆 6. 引揚 7. ハンセン 8. 高齢 9. 新婚 10. 子育て 11. 多子
住民票		戸籍謄(抄)本 (外国籍)	受理証明	在留カード等	員番	収入の 種 類	年間収入金額	年間所得金額	控除区分	手帳	控除金額
住宅状況	賃貸証明	登記事項	生活保護								
課税証明	給与証明	賃金台帳	確定申告	事業報告・帳簿							
			年金	退職証明							
障害手帳	同・別居誓約	緊急連絡先	入居誓約書								
					所得合計				同居者 380,000×		控除後の金額
									控除額合計		